

# 地域活性化への理解醸成調査

## 報告書

平成25年3月

国土交通省 国土政策局 地方振興課

地域活性化への理解醸成調査  
報告書

目次

1. はじめに .....	3
(1) 目的・背景 .....	3
(2) 調査の視点 .....	4
(3) 調査フロー .....	5
2. 地域活性化に向けた理解醸成への取組詳細 .....	6
(1) 北海道平取町 .....	6
①これまでの取組 .....	6
②シンポジウム・ワークショップ内容 .....	11
(2) 岡山県笠岡市 .....	21
①これまでの取組 .....	21
②シンポジウム・ワークショップ内容 .....	26
(3) 事業アンケート .....	35
3. 地域活性化に向けた理解醸成のあり方等について .....	42
(1) 理解醸成を図る際に踏まえておくべき事項 .....	42
(2) 理解醸成の取組ポイント .....	43
4. 北海道平取町・岡山県笠岡市シンポジウム関連資料 .....	45
(1) 北海道平取町 .....	45
(2) 岡山県笠岡市 .....	85

## 1. はじめに

### (1) 目的・背景

地域づくり活動に対しては、地域振興アドバイザー、地域再生を担う人づくり支援といった国土交通省の取組をとおして、外部有識者の知見、活動団体自らの取組の検証への助言を行ってきた。

地域づくり活動を継続していくうえで活動団体が懸念している事柄には、担い手の確保と育成、地域住民の理解の獲得、地域の魅力の確認、外部からの視点の獲得といったことがある。

このような事柄に対しては、地域振興アドバイザーでは地域づくりの心構え、行政の関与の考え方、実際の取組への考え方等に対するアドバイスを行ってきた。地域再生を担う人づくりでは活動団体の活動のOJT、外部有識者の知見と併せて活動団体同士の意見交換をとおした知見の共有を行ってきた。

また、学生等の若者を地域で受け入れることで交流を行う事業を実施している市町村もあり、このような体験交流に参加している大学生や大学院生も多い。国土交通省では、市町村が実施している体験交流の情報提供を実施している。

#### ○地域振興アドバイザー

[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000028.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000028.html)

#### ○地域再生を担う人づくり支援

[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000018.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000018.html)

#### ○若者の地方体験交流

[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd\\_chisei\\_tk\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd_chisei_tk_000007.html)

地域づくり活動の継続・発展のためには多くの人の理解と共感を得ることが必要であるが、これまでの国土交通省の取組からみても地域づくり活動に対する地域住民や学生の興味や関心が高いものと言える。地域においても外部の人や若い人の視点から新しい地域の魅力を確認したいという機運も高まっている。

また、地域コミュニティで考えると、住民が地域づくり活動に参画していくことは、地域活力の向上が期待できるとともに、地域文化の継承、住民同士のつながりの強化が期待できる。

このような活動を後押しし、地域づくりへの担い手の確保や地域住民への浸透に向けた取組として、平成23年度から「地域活性化への理解醸成調査」として、活動団体の他に、地域住民、行政を一堂にあつめ、地域づくり活動の発表と意見交換を行うことで、活動主体の連携、地域づくり活動への参画の推進等について検討することとした。

今年度は、北海道平取町での取り組みと岡山県笠岡市での取組から地域活性化への理解醸成を考えることとした。

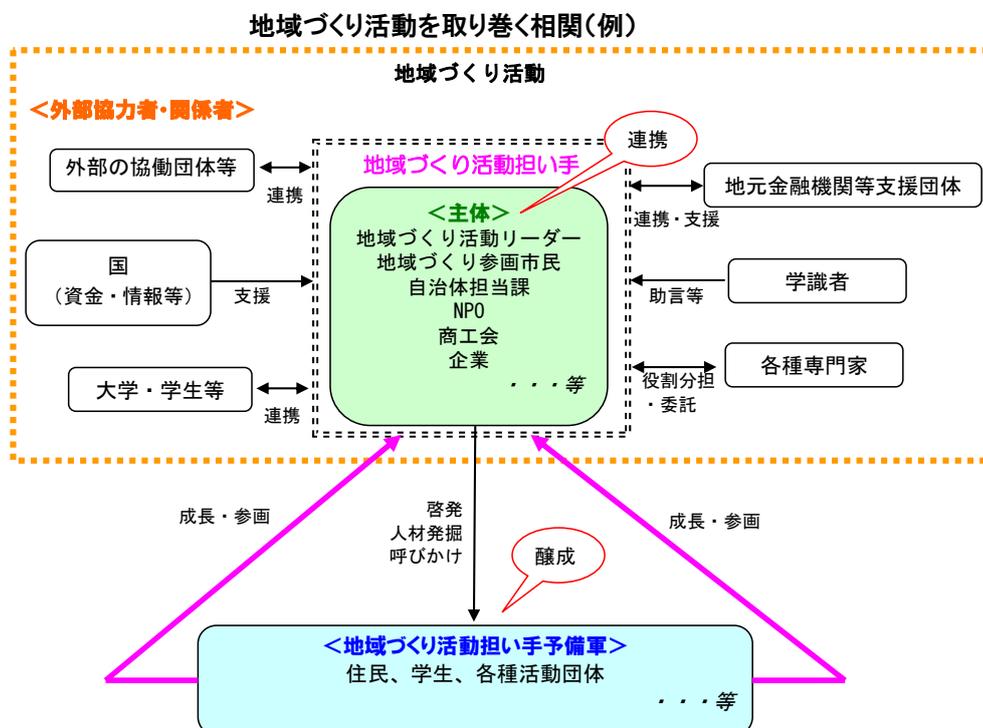
北海道平取町並びに岡山県笠岡市ともにいわゆる「平成の市町村合併」は行っておらず、独自の地域づくりの取組を積極的に行っている地域である。

しかしながら、両地区ともに少子高齢化の進展により次世代の地域づくりの担い手や理解を深めあう仲間等が少ないことが一番のネックとなっており、将来において地域づくり活動が停滞することが危惧されていた。

本調査では、学識経験者の参加を得ながら地域住民自らが、これらの課題解決の糸口やきっかけを得られるための体制や仕組みについて検討を行ったものである。

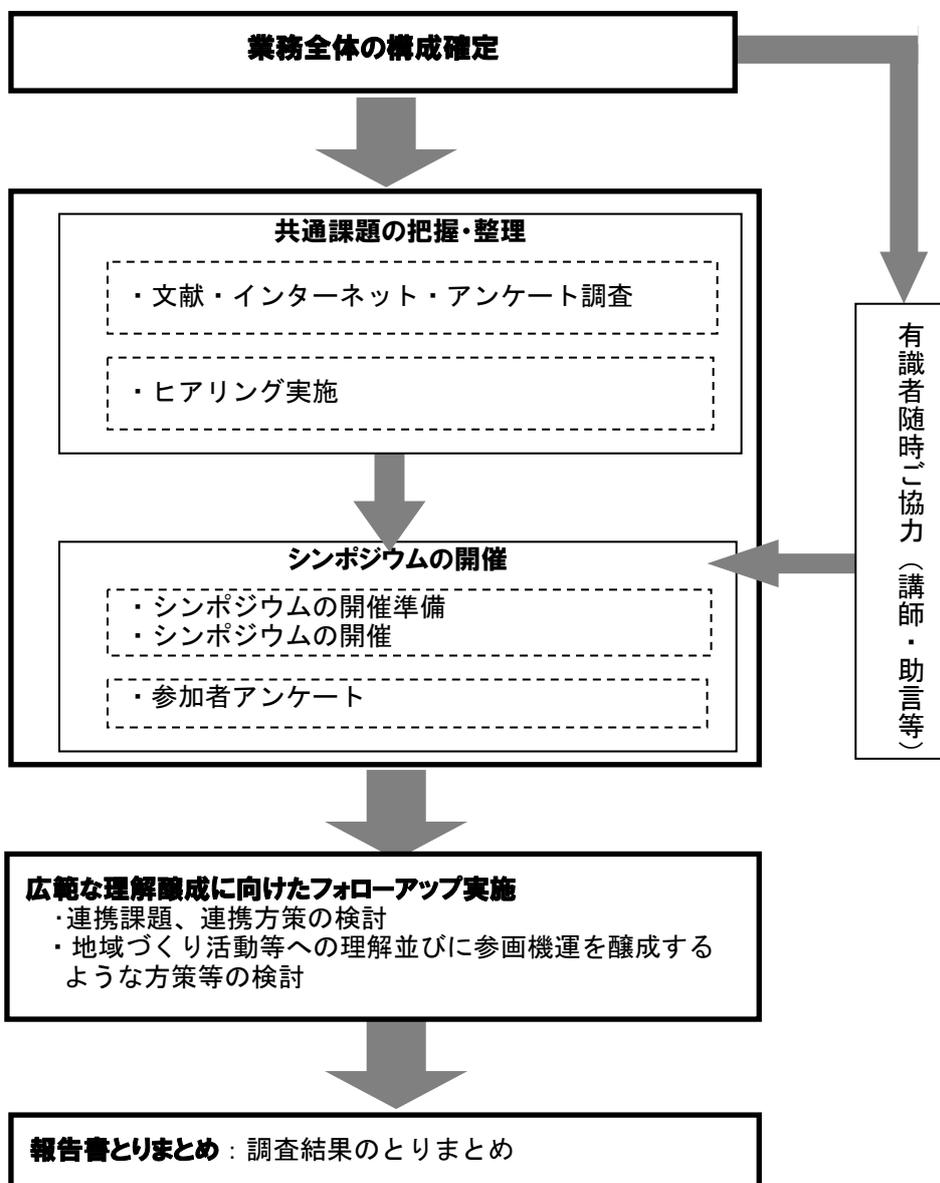
## (2) 調査の視点

自発的な地域づくり活動を取り巻く関係者は多岐に亘り、それぞれの役割も異なる。そのため地域づくり活動を行う主体が抱える課題も主体間での課題なのか、外部協力者・関係者との間で生じる課題なのか、地域づくり担い手予備軍の巻き込みを図る際の課題なのかで対応方策も異なる。よって本調査においては、**主体を中心に、外部協力者・関係者、地域づくり活動担い手予備軍等に分類**し、それぞれの役割分担のほか、どの立場との関係による課題なのか等について明らかにする。



(3) 調査フロー

本事業は以下のフローに基づき実施した。



《本調査事業に協力頂いた自治体》

北海道平取町役場まちづくり課

TEL : 01457-2-2222

岡山県笠岡市政策部協働のまちづくり課

TEL : 0865-69-2123